

光星 4季連続甲子園



〒030-0180
青森市第二問屋町3丁目1番9号
東奥日報社

(C)東奥日報社 2012

インターネット
号外

購読のお問い合わせは
東奥日報社読者局



0120-146-5939

ヨム

コウドクサンキュー

5-1-3 聖愛を「夏」2年連続6回目



【聖愛高 光星学院】1回裏、1死三塁で光星学院の田村が右前に先制の適時打を放つ。青森市営球場

決勝

聖愛	0	0	0	1	0	1	0	1	0	3
光星学院	1	0	0	0	0	2	0	2	0	5
									x	
										5

(聖)小野、下山、久米田 根深
(光)城間 田村
本塁打：武田(光) 二塁打：大場(聖) 天久、田村2、北條(光)

第94回全国高校野球選手権青森大会は26日、青森市営球場で決勝戦を行い、光星学院が聖愛高を5-3で下して2年連続6回目の優勝を果たし、本県史上初の春夏通算4季連続甲子園出場を決めた。

光星学院は初回、天久の中前一塁打と犠打で1死三塁から、田村の右前適時打で先制。六回表、聖愛高に1点を勝ち越されたものの、その裏に木

村、天久、田村の安打に二つの犠打と暴投も絡めて2点を取り返した。八回表に聖愛高・大場の適時二塁打で1点を返され3-3の同点となったが、同裏、北條の二塁打と武田の右越え本塁打で再び2点を勝ち越した。

先発した城間は、球威のある直球を低めに集め、コースを丁寧に投げ分け要所を締めた。

詳細は朝刊で